

【熟議①「ボランティアの充実」に向けてできることは？】

直前に行った、「学校自己評価アンケートの結果報告」を受けての熟議だったため、議題であるボランティアの話題から、アンケートの結果に話題が移っていった。出された意見は以下のとおり。

- 保護者アンケートの「学校が楽しい」の「楽しい」のとらえ方が保護者によって違うのではないかと。「楽しい」をどうとらえるかが難しいと感じた。
- ボランティアの募集はよいことであるが、ただ漠然と呼びかけても効果はないと思う。ボランティアをする側は、「こんなことをしたい」という希望があるはず。募集する側（学校）も「こんなことをしてほしい」という願いがあるはず。お互いにその辺りをはっきりさせていく必要があると思う。
- この学校評価部会の委員の中には、授業（先日行った「委員による授業観察&意見交換」）を見に来てくださる方が複数おられる。教師の視点ではない意見をいただけるのがありがたい。教師の視点ではないというところが、保護者の視点に通じていると感じる。
- （↑の意見を受けて）例えば、小学部の保護者が中学部の授業を参観するような機会を持つのもよいのではないかと。委員だけがこの機会を活用するのはもったいなく感じた。
- （学校自己評価アンケートの結果を受けて）アンケート結果が良くない点に視点をあてるのは大変良いと思う。見たくないものにふたをするのではなく、改善を図ろうとする前向きさを感じる。ただ、「結果が良くないから、ボランティアにまかせた・・・」となるのでは短絡的ではないか？学校で考えること、できることはまだまだたくさんあると思う。
- （学校自己評価アンケートの結果を受けて）文化、芸術というのをあまりレベルの高いものと考えする必要はないと思う。たとえば、地域のゴミ拾いをして、拾ってきた物で何か作品を作るなど、取り組みやすい物を考えていけば良いと思う。
- （学校自己評価アンケートの結果を受けて）ワークライフバランスについては、評価が低い先生方が、どのようなところがいけなくて、どのようにしたいのか具体的に聞いてみたい。基本的には「やめることを決めないと何も減らない」と思う。